

タカソマ★タカラソマ 8月号

8～9月の行事・イベントなど

8月22日(土)まで	UMIBOUZ IN 高島 8月1日(土)・8日(土)・22日(土)
8月2日(日)	市民大清掃(全島清掃)
8月9日(日)	高島地区ふるさと夏祭り
9月1日(火)	「子どもを守るネットワーク」パトロール
9月20日(日)	高島ふれあい運動会 ※ 荒天時は9月27日(日)に延期
9月26日(土)	第3回高島ワイワイ話そう会

高島地域センターだより No.35
発行日：令和2年8月1日(土)
編集：高島地域センター
〒851-1315 長崎市高島町1728番地1
電話/095-896-3110(代表)

高島地域センター管内の人口
(令和2年6月末現在)
■人口 352人(R元.6月末371人)
【男171人、女181人】
■世帯数 239世帯

今回は「まちづくり計画素案」を確認し、「キャッチフレーズ」を考えます！ 第3回 高島ワイワイ話そう会

お問い合わせ
高島地域センター
☎896-3110

コロナ対策をとった上で
開催します
マスク着用をお忘れなく！

- 日時：9月26日(土) 15時30分～17時30分(予定)
- 場所：高島ふれあいセンター ホール

第1回(昨年11月)、第2回(今年2月)の高島ワイワイ話そう会で出された意見をもとにつくったまちづくり計画素案を確認します。

高島町が目指す姿を表現したキャッチフレーズをつくりまします。

※ 参加希望のかたは、折込チラシ裏面に記入の上、高島地域センターへお申し込みください。

※ 参加者同士が一定の距離をとるよう配慮するなど、コロナ対策をとった上で開催します。マスク着用をお忘れなく。



第2回高島ワイワイ話そう会の様子

今年もお楽しみがいっぱい！ 高島地区ふるさと夏祭り

お問い合わせ
高島町自治会連合会
☎896-2031(スーパー高島)

コロナ対策をとった上で
開催します
マスク着用をお忘れなく！



- 日時：8月9日(日) 17時30分～21時00分
- 場所：高島海水浴場ウッドデッキ
- 内容：盆踊り(踊ってビンゴカードをゲット!)、ビンゴゲーム、ミニコンサート(出演：RAINBOW MUSICほか)、夜店(釣り物、ダーツなど)、ミニ花火大会、

※ ミニコンサート(出演：RAINBOW MUSICほか)は、長崎市主催の「みんなの元気応援事業」の一環として開催します。

地域センターからのお役立ち情報

高島診療所の金曜日夜間の救急診療を再開します

お問い合わせ
高島地域センター
☎896-3110

高島診療所では、これまで休止していた金曜日夜間（17時00分以降）の救急診療を再開します。

- 再開日：8月7日（金）の夜間（17時00分以降）から



好評開催中！ 「UMIBOUZ IN 高島」

お問い合わせ
高島地区活性化イベント実行委員会
☎896-3110（高島地域センター内）

1. 開催日：8月1日（土）、8日（土）、22日（土）
※ 8月15日（土）は開催しません。
2. 開催場所：高島海水浴場
3. 出演アーティスト：RAINBOW MUSIC、SICKLE ONE、Cozueなど
4. イベントスケジュール（カッコ内はミニゲームの定員）

新型コロナウイルス
対策を実施しながら
開催しています。

時間 \ 月日	8月1日（土）	8月8日（土）	8月22日（土）
11時00分～	氷カーリング（40人）	氷カーリング（40人）	氷カーリング（40人）
13時00分～	浮き輪輪投げ（80人）	ラムネ早飲み競争（40人）	浮き輪輪投げ（80人）
14時00分～	大抽選会	大抽選会	大抽選会

※ 出演アーティストらによるステージイベントもあります！

8月15日（土）の精霊流しの日 は流し場、こも置き場を設置します

お問い合わせ
廃棄物対策課
☎829-1159

2m以上の精霊船を出す場合や、道路を使用して精霊船を作ったり、一時保管する場合は、早めに大浦警察署へ道路使用許可願を提出してください。

高島地区の流し場、こも置き場は、南消防署高島出張所横の土木倉庫（昨年と同じ場所）です。8月15日（土）19時00分までにお出してください。

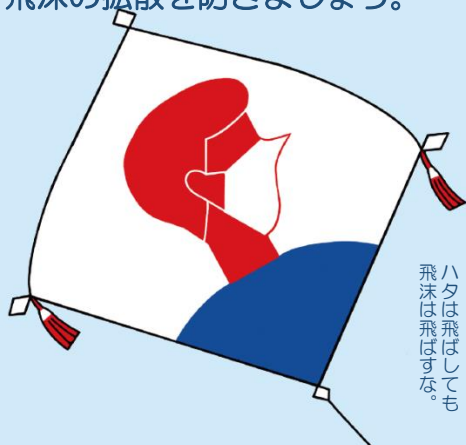


高島地域センターだよりでは、高島地区のニュースやお知らせを募集しています。
島内に広くお知らせしたいことがございましたら、ぜひ高島地域センターへお寄せください。

防災行政無線情報（下記に電話すると、放送された内容を自動音声で聞くことができます。）
☎ 0180-999-002（一部の電話機からは利用できない場合があります）

「新しい生活様式」 あなたらしく取り組んでみませんか？

マスクの着用や
咳エチケットを心がけて
飛沫の拡散を防ぎましょう。



こまめな手洗いや
消毒を心がけましょう。



密集・密接・密閉を
避けましょう。



高島フォトダイアリー



やったろうde高島がまたまた快挙！

やったろうde高島が、第15回エコツーリズム大賞（環境省主催）のパートナーシップ賞を受賞し、6月29日（月）、福村代表、小村事務局長らが田上市長を表敬訪問して、受賞を報告しました。

やったろうde高島では、世界的にも珍しい高島海水浴場に生息するサンゴの再生のために、昨年5月から、サンゴ育成装置を導入しています。その導入にあたり、東京大学やソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（株）などと多様な連携に取り組んでいることが高く評価され、晴れの受賞となりました。

今回の受賞は、平成28年度の第12回エコツーリズム大賞特別賞、令和元年度のながさき農林業大賞げんきビレッジ都市との交流部門に続くもので、ますますの飛躍が期待されます。

みんなの願い 天の川に届きますように！

7月2日（木）、高島幼稚園の園児たちが高島港ターミナルの待合室で、外国語指導助手（ALT）のベンジャミン先生と一緒に七夕の笹飾りをしました。

ベンジャミン先生は、昨年9月から高島小・中学校、高島幼稚園などで英語を教えていて、「この機会に日本の文化にぜひ触れたい！」と駆けつけました。

園児たちが「お願いごとを書いてください！」と、定期船を待っている人たちに元気よく呼びかけると、すぐに七夕の笹はお願いごとの短冊でいっぱいになりました。





大きくなあれ 高島生まれのヒラメたち

海開きを翌日に控えた7月17日（金）、高島海水浴場の安全を祈って、安全祈願祭と稚魚放流が行われました。

稚魚放流に参加したのは、高島幼稚園の園児5人と高島小学校の児童13人。

子どもたちは初めに（株）高島水産センターの濱脇社長から説明を受けたあと、2人1組に分かれて、（株）高島水産センターで生まれたヒラメの稚魚約100匹を海水浴場の波打ち際から一斉に放流しました。

元気に泳いでいく稚魚たちに「大きくなあれ！」とさかんに声をかけながら、みんな大喜びでした。



万一の水の事故に備えて 高島小学校 着衣泳講習

7月22日（水）、高島小学校の児童13人が、高島海水浴場で着衣泳の講習を受けました。

初めに水に身体を慣らしたあと、水着の状態ですぐに浮く練習をしました。最初はなかなか浮くことができず、苦労している様子でしたが、すぐにコツをつかんでみんな上手に浮くことができました。



続いて取り組んだのは、水着の上から服を着て浮く練習。水着だけのときとの違いを体感しました。

最後は空のペットボトルを浮き具の代わりに使って、もっと楽に浮くことができることも教わりました。

先生の話によると、万一の場合でもあわてず、静かに浮いた状態で体力を温存することも大切だそうです。



7月15日（水）には、「励ます会」も行われました。



高島中学校の選手たちも健闘！ 長崎市中総体

新型コロナウイルスの影響により延期されていた長崎市中総体が、7月25日（土）～27日（月）に開催され、小島中学校（男子）と三菱重工体育館（女子）で行われたバドミントン大会に、高島中学校バドミントン部の男子選手1人、女子選手2人が出場しました。

会場は選手以外の入場に人数制限が設けられ、選手たちはいつもの大会とは違う雰囲気の中で戸惑いもあったようですが、日ごろの練習の成果をいかに発揮し、3年生は中学校生活最後の大会を終えました。最高位はベスト8まで勝ち進みましたが、準々決勝で惜しくも涙をのみました。

《編集後記》

稚魚放流と着衣泳講習の取材で、久しぶりに高島の海に入りました。ほどよく冷たくて気持ちよかったです。故郷の海のありがたさをあらためて感じました。（たみ）